

日本図書館情報学会会報

No. 201

2025年4月

日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1

相模女子大学 金井喜一郎研究室内

（事務局業務に関する問合せ先）

（株）ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ウェブページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行019店 口座番号=当座0045759 口座名義=日本図書館情報学会

2025年度日本図書館情報学会春季研究集会のご案内

会員各位

会長 岸田和明

2025年度春季研究集会を実践女子大学において、下記の要領で開催いたします。会員のみなさまにおかれましてはふるってご参加ください。参加を希望される方は、学会ウェブサイトから所定の期日までにお申し込みください。

記

主催： 日本図書館情報学会

日時： 2025年5月31日（土）10:00～16:00

会場： 実践女子大学渋谷キャンパス 創立120周年記念館 501, 502

〒150-8538 東京都渋谷区東 1-1-49

https://www.jissen.ac.jp/access_guide/#anc7_1

アクセス： 渋谷駅 東C1出口から徒歩約10分

表参道駅 B1出口から徒歩約12分

参加費： 会員（正会員・学生会員）、及び非会員の学生は無料。学生以外の非会員は2,000円。

申込締切： 2025年5月27日（火）23:55

申込先： 学会ウェブサイト（<http://jslis.jp/>）からリンクを辿り、申込フォーム（Peatix）にアクセスしてください。発表者も必ず申し込んでください。参加費が無料の方も、事前の申込が必要です。事前申込なしの当日参加はできません。

初期キャリア研究者ランチ交流会：

- ・ 当日の昼休みに、初期キャリア研究者同士の自由な交流の場を設けます。会場には無料の軽食を用意いたしますので、初期キャリア研究者の方はぜひご参加ください。
- ・ ランチ交流会に参加ご希望の方は、Peatix 上で研究集会参加申込の際、合わせて申込をお願いいたします。

図書館見学：

- ・ 参加者の方は、開館時間中（8:30-17:00）に、実践女子大学渋谷キャンパスの大学図書館を自由見学することができます。当日配布する春季研究集会発表論文集を持参し、2 階カウンターの職員に提示してください。

備考：

- （1）宿泊については、会場校での斡旋は行いません。各自でご手配ください。
- （2）学内のカフェテリアは営業しておりません。売店（9 階）は営業していますが、お弁当の販売はありません（営業時間 8:30-13:00）。昼食は持参されるか、渋谷駅近くの渋谷ストリームや渋谷ヒカリエ内のレストランなどをご利用ください。
- （3）会場の教室は飲食可ですが、ゴミはお持ち帰りいただきます。
- （4）一般の休憩室とは別に、親子休憩室を設置します。保育スタッフや特別な設備の用意はありませんが、どうぞご自由にお使いください。

*渋谷キャンパスの案内：

https://www.jissen.ac.jp/life/institution/shibuya_campus/campusmap_shibuya_index.html

2025年度春季研究集会（実践女子大学）プログラム

10:00～ 10:20	開会式 第1会場（5階 501教室）	
	第1会場（501教室）	第2会場（502教室）
10:20～ 10:50	*新屋朝貴（筑波大学大学院） 私立大橋図書館の理念、組織、サービスはどのように構築されたか	白戸満喜子（実践女子大学） 紙質という情報：料紙観察の例から
小休憩		
10:55～ 11:25	*村上陽菜（日本医薬情報センター附属図書館） 学術文献から収集される医薬品安全性情報と影響する要因の定量的検討	谷口祥一（元慶應義塾大学） RDAからIFLA LRM/DC/MARC21へのマッピングとその複雑性指標
小休憩		
11:30～ 12:00	*三澤昇生（東京学芸大学大学院） 古典教育における学校図書館	安形輝（亜細亜大学） バーチャル国際著者典拠ファイル（VIAF）を対象としたメタデータ補完：「国」を対象とした自動分類実験
昼休憩 12:00～13:20		
13:20～ 13:50	高松美紀（東京学芸大学附属国際中等教育学校） 教科横断的な学びを支援する学校図書館の可能性：国際バカロレア認定校を含む附属学校図書館の事例を通して	根本彰（東京大学） ビアウア・ヤアラン(Birger Hjørland)の認識論と図書館情報学方法論：知識組織論の可能性
小休憩		
13:55～ 14:25	中村百合子（立教大学）、有吉永介（なし）、森田英嗣（大阪教育大学） 全国9地域の「情報メディアの活用」の教授の実態：グループインタビューとシラバスの分析から	葉袋秀樹（元筑波大学） 図書館法案の検討過程における日本の図書館関係者とCIE（民間情報教育局）を中心とする米国側の関係
休憩（15分）		
14:40～ 15:10	宮原志津子（相模女子大学） 図書館実習モデルプランの意義	吉井潤（都留文科大学） 地方公共団体が策定した図書館基本構想の記述に関する分析
小休憩		
15:15～ 15:45	福永智子（相山女学園大学・東京大学大学院） 日本の公共図書館における読書相談とその類義語の範囲およびそれらの意味内容の変遷について	村越貞之（職業能力開発総合大学校図書館） 環境学習の機会提供：職業能力開発総合大学校図書館の実践から

- ・氏名前の*は優秀発表奨励賞授与候補者（自己申告による初期キャリア研究者）です。同賞選考委員会が審査し、受賞者を選出します。
- ・このプログラムは暫定版であり、発表論文の提出をもって確定します。
- ・所属は、教職員（常勤／非常勤）・学部生は「機関名」（「大学名」）、院生は「大学院名（「〇〇大学大学院」）としました。
- ・会場として使用する教室は変更の可能性があります。

第73回（2025年度）研究大会開催について

研究委員会

第73回日本図書館情報学会研究大会は、同志社大学新町キャンパス（京都府京都市）において、2025年12月13日（土）、14日（日）に開催されます。2日目午後「図書館情報学と他領域との共同研究の可能性：連携・協同の実際」（仮題）をテーマに、一般公開にてシンポジウムを開催します。会員の皆様におかれましては参加をご予定ください。なお、初冬の京都ということもあり、参加を予定されているみなさまにおかれましては、宿泊先の手配は早めになさるようお勧めします。

学会賞・論文賞・奨励賞候補の推薦募集

学会賞選考委員会

2025年度の日本図書館情報学会賞、論文賞、奨励賞の候補に関する推薦を下記のとおり、募集いたします。自薦・他薦を問いません。多くの会員からの候補の推薦をお待ちしております。

記

1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞
- (2) 日本図書館情報学会論文賞
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞

2. 選考対象

- (1) 日本図書館情報学会賞：本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：本学会の正会員・学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞：本学会の正会員・学生会員（若手研究者）

3. 選考対象業績

- (1) 日本図書館情報学会賞：正会員によって 2023年度もしくは2024年度（2023年4月1日～2025年3月31日）に日本語もしくは英語で発表された単著の図書
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：『日本図書館情報学会誌』第70巻第2号から第71巻第1号までに収載された、本学会正会員もしくは学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞
 - a. 『日本図書館情報学会誌』第70巻第2号から第71巻第1号までに収載された、本学会正会員もしくは学生会員による単著論文
 - b. その他の研究業績については、本学会正会員により推薦されたもの

4. 選考

学会賞選考委員会において学会賞選考委員会内規に基づき審査し、常任理事会および理事会の承認を得て決定する。

[学会賞選考委員会内規の選考基準の部分の抜粋]

(1) 学会賞選考基準

学会賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 単行書として刊行された日本語もしくは英語の学術図書であること
- 2) 単著であること
- 3) 図書館情報学分野を対象とし、一定の学術的体系性をもつ研究成果であること
- 4) 図書館情報学分野においてオリジナリティのある研究成果であること

(2) 論文賞選考基準

論文賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 日本図書館情報学会誌の当該年度の対象の号に掲載された優れた論文であること
- 2) テーマの設定、提示された成果にオリジナリティがあること
- 3) 論文の内容、構成、表現について、論文としての完成度が高いこと

(3) 奨励賞選考基準

奨励賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 日本図書館情報学会誌の当該年度対象の号に掲載された若手研究者による単著論文であること
- 2) 研究テーマの設定が明確で、学術的意義があること
- 3) 研究方法、成果の提示に大きな瑕疵がないこと
- 4) 今後の研究の発展に期待ができること

5. 授賞

第73回（2025年度）研究大会時に授賞式を行う。

6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した用紙（所定の書式はないが、A4判横書きが望ましい）を6月30日（月）までに必着で電子メールないしは郵送にて送付すること。なお、推薦者の氏名は非公開とするが、選考過程を報告する際に、推薦理由等については一定程度言及することがあり得る。

- a. 著者名
- b. 著作名（書名、論題名等）
- c. 出版社／収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 推薦者連絡先（メールアドレス明記）
- e. 推薦理由

7. 応募・推薦先

【郵送】〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 明治大学司書・司書教諭課程室気付

日本図書館情報学会 学会賞選考委員会 三浦太郎

【メール】 senkou@jslis.jp（学会賞選考委員会）

執筆支援活動開始のお知らせ

出版事業ワーキンググループ

出版事業ワーキンググループでは、「2030年代の図書館と情報サービス」シリーズの出版に向け、執筆者およびメンターを公募しました。さまざまな意欲的なテーマを持つ初期キャリア研究者の方々から応募があり、2025年1月より、第1巻（公共図書館）の執筆支援活動を開始しました。出版は今年度末の予定です。

なお第1巻の執筆支援活動のメンターは次の方々です。

今野創祐（東京学芸大学）、大谷康晴（青山学院大学）、大場博幸（日本大学）、須賀千絵（実践女子大学）、吉田昭子（文化学園大学）

委員会・事務局より

定例（通信）総会投票用ハガキの事前申請について

会報 No.202 で行う定例（通信）総会は電子投票を実施いたします。ただし、電子投票システムを利用した投票が困難な正会員に対して、投票用はがきでの投票手段を用意いたします。電子メールにて、件名を「定例（通信）総会投票用ハガキの事前申請」とし、事務局（office@jslis.jp）までお申し出ください。

2025年5月26日(月)必着といたします。投票用はがきは往復はがきの形式で6月上旬に送付いたします。郵送投票を行う際には、はがきに記載されている締め切りまでに郵送して頂きますようお願いいたします。送付した投票用ハガキ以外での郵送投票については全て無効となります。ご注意ください。

（総務委員会）

2025年度の会費納入について

2025年度の会費払込用紙は6月号の学会誌に封入予定です。クレジットカードでの支払についても6月号の学会誌発送と同タイミングで可能となります。今しばらくお待ち下さい。

未納会費の納入について

2024年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2023年度までの会費を未納の場合は、2024年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を3年滞納した会員（学生会員は2年）については、その年度末（3月31日）に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また、会費を1年滞納（当該年度末を超えて滞納）した場合は、機関誌の配付を一時停止します。

そのほか、学生会員で2025年4月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から8,000円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号＝00160-5-0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号＝当座 0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム (SOLTI) から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の4月20日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。毎年3月20日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1年分の会費請求が発生しますのでご注意ください。

(事務局)

学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- 青木和人 著『ウィキペディアタウン・ハンドブック：図書館・自治体・まちおこし関係者必携』文学通信，2024
- 野口武悟，新藤透，千錫烈，長谷川幸代 編著『2050年の図書館を探る：何が変わり・変わらないのか』日外アソシエーツ，2025
- パトリック・ウィルソン 著，齋藤泰則 訳『知の公共性と図書館：公共的知識と個人的無知の対比』丸善出版，2025
- 原田智子，江草由佳，小山憲司 著『情報サービス演習』四訂，樹村房，2025
- 水谷長志 著『ミュージアムの中のライブラリでアーカイブについても考えた：体験的 MLA 連携論のための点綴録』樹村房，2025

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

（事務局）